

# 風のように

甘木教会



Three disciples saw Moses and Elijah talking with Jesus

主任牧師：白川道生

牧会委嘱牧師：竹田孝一

イエスは近づき、彼らに手を触れて言われた。「起きなさい。恐れることはない。」彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにほだれもいなかった。  
マタイによる福音書17:7～8

## 【説教要旨】

主の変容の記事です。「17:2 イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。17:3 見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。17:4 ペトロが口をはさんでイエスに言った。『主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。』

弟子が恐れ慄くほどの栄光の姿です。私たちはペテロのように栄光の主に従い、この主の姿を望んでいます。

今回の衆議院選挙の結果は、日本国民が、右傾化したと単純に捉えるべきではないと私は感じています。走り続ける未来がどうなるか予想がつかないのです。今日は、通じていたことが明日は通じないという未来が予測できない不安が私たちに大きな不安となって知らないうちに覆っているのです。未来が予想されない不安の中で、強い、今までにいないリーダーを求める国民の不安が高市首相という形で結晶した選挙結果だということではないかと私は思います。

しかし、今日のもう一つの変容をみていきたいのです。彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにほだれもいなかった。

光輝くイエス・キリストでなく、病人、悩める者に寄り添い、宿もなく旅を続け、泥と汗に汚れた人間イエスです。一瞬

の変化です。しかし、私たちが見るのは、聞くのはこのイエスです。

ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。

私たちの苦しみを自分のものとされたイエス・キリストを見、聞くことです。栄光に満ちた力強いイエス・キリストに聞くのではないのです。それは教会の暦が示しています。主の変容後、灰の水曜日があり、受難節に入っていきます。十字架にお掛りになったイエス・キリストに聞くのです。エゴに満ち溢れ、未来が予測できず、ニヒリズムに陥りやすく生きづらい世界にあって、苦しんでいる私たちに寄り添い苦しんでいるイエス・キリストを見、キリストの声に聞くのです。

では、イエス・キリストを見て、何を聞くのか。「**これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。**」とイエス・キリストに語られた神の言葉です。エゴに満ち、力によってねじ伏せようとする神から離れ罪の内にいる罪びとである私たちのために十字架において私たちの罪を負われたイエス・キリストを通して、私たちも「**これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。**」とされていることを聞くのです。

私たちはエゴに満ち、力によってねじ伏せようとするし、未来が予測できない世界にあって苦しんでいる生きづらい社会があります。そこで、栄光を勝ち取ろうとして、限りなく努力し、得ようとする無限上昇性の世界で、エゴイズムに陥り、不安の中にある私たちをイエス・キリストに語られた「**これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。**」言葉は十字架の出来事を通して、罪赦された私たちは、神に愛され、み心に適う者であると宣言されているのです。

滝沢克己さんが、孫に宛てた手紙、「滝沢克己 中学生の孫への手紙 人生の難問に答えて ヨベル新書」のなかで、次のように書いています。

「キリスト教にとっても、一番大事なこと（結局はただそれ

だけが大切な事)は、決してむずかしいことではありません。よく心を静めて考えて見れば誰にでも分かってくる。ごく単純な事実なのです。

一言でいうと、人間は皆一男も女も、老人も子どもも、善い人も悪い人も、浄らかな人も穢い人も、一人の例外もなく一そのままですぐに、神さまの子ども、一人一人がかけがえのない可愛い子どもだ、という根本的な事実です。」

イエス・キリストの十字架を通して、私たちが神に愛され、み心に適う者であるという事実が私たちを根本的にここに存在できているのです。根本的事実から大きな私たちの変化が起きてきます。エゴイズムに走らず、不安に陥らず、命という有限の生を、共に共存し、楽しく、豊かに生きていく生が創造されていきます。

四旬節の前に変容主日を迎えるのは、四旬節の備えでもあります。私たちの真の栄光は、約束してくださった主の恵みの憐みと慈しみの十字架のイエス・キリストにあることに聞くことです。

「私たちは、自分のわざによるのではなく、約束してくださった主の恵みの憐みと慈しみによって、神に喜ばれる者とされていることを確信します。そしてもし、躓いたり、なすべき働きが足りなかったとしても、主は父の愛によって、私たちを赦し、さらに良い者としてくださいます。これこそ、主なる神のうちにあるあらゆるキリスト者の栄光です。」とルターは、真の栄光とはなんであるかということを言っています。

灰の水曜日を前にして、私たちの人生の旅路が、イエス・キリストの十字架の愛の栄光の勝利にあることを信じ、信仰者として、「これはわたしの愛する子。これに聞け。」という信仰の道をこれからも共に歩んでいきましょう。同時に「これに聞け。」とは、イエスのみ言葉、「自分を愛するように、人を愛する」ということを聞くのです。それが、宣教、伝道であり、自分たち一人一人の生き方なのです。そのようになりますように。

# 牧師室の小窓からのぞいてみると




今回の衆議院選挙の結果をどう捉えるべきでしょうか。これを右傾化と単純に捉えるべきではないと私は感じています。未来が予想されない不安の中で、強い、今までにいないリーダーを求める国民の不安の結晶が選挙結果だということではないかと私は思います。

聖書に人々はメシアが来られることを望んでいたとあります。国を統一したかつての強いダビデ王のようなメシアを望んでいました。しかし、メシであるイエス・キリストは、まったく真逆な弱いお姿で現れました。顕現節のこのとき、この強いリーダーを求める時代だからこそ、本当に救いをもたらすことは、何であるか私たちは耳を傾けるべきでしょう。私たちは強さではありません。弱さに寄り添ってくださるメシア・イエスとともに不安の中にあっても弱い人びとに寄り添ってこの時代を生きていきたいと思います。弱い教会はますますこの時代に必要なものとなっています。新しい一步が再び始まります。

## 園長・瞑想？迷走記



羽村幼稚園の大きなシンボルのな遊具が老朽化で、園児の安全を第一にして、壊すを再度、作り直すことは、ことにしました。これ簡単です。当り前のことですが、これを機会として、こ  
現するものとして、遊具であるかまた、園庭全体についてもどのような姿を望んでいるかをまず職員みんなで考えていただく楽しいときとなるんじゃないですかとお願いしました。そして、保護者にも経緯を報告し、一緒に考えていただくようにとお願いしました。確かに大変なことになりましたが、すべてに時があり、楽しいときなるのではないのでしょうか。何事も楽しく、楽しくだと私は思います。幼稚園（Kindergarten＝子供の庭）ですからね。楽しい子どもの庭になって欲しいですね。

## 日毎の糧

聖書：子に口づけせよ／主の憤りを招き、道を失うことのないように。主の怒りはまたたくまに燃え上がる。

いかに幸いなことか／主を避けどころとする人はすべて。

詩編2:12



### ルターの言葉から

人間の本性は盲目であり、自分の力、いや自分の病をしない。そればかりかもっと傲慢になって、自分がすべてを知り、すべてをなしうと思っている。（奴隷意志論）

### 主に身を避ける

この詩編は、新王の即位の時に読まれただろうが、しかし、バビロン捕囚、その後の歴史を振り返るとき理想とするダビデのような王は即位しなかった。しかし、なぜ、この詩編はのこったのだろうか。

「バビロン捕囚解放後も、ダビデ王朝は再興されなかった。そうしたなか、王の詩篇は読み直されることになる。本詩の場合、『王』が、地上の諸権力に翻弄されるかにみえる世界にあってなお、『天を王座とする方』ヤウエの絶大な権能に信頼して生きる信仰者の姿に重ねられる。ヤハウエのもとに『すべて主に身を避ける人』への祝福の言葉をこの詩編の末尾に付した背景には、このような理解がある。『王』が『すべて主に身を避ける人』の典型と解されたのである。」①

王、神、メシアへの信頼の詩であり、私たちクリスチャンにとってはイエス・キリストへの信頼の詩となる。

私たちは生まれてここまで多くの自分の支えるものがあつた。知識であり、お金であり、権力であつたりした。しかし、信仰者の歩みは、「裸で生まれ来て、裸で帰る」という歩みをいつも自覚することにほかならない。今日まで自分を支えていたものを捨てて神は避けどころとする幸いを生きるのである。

引用文献：① 詩編の思想と信仰Ⅰ 月本照男 新教出版

祈り：厳しき社会にあって、私を守るものを全て裸にして、あなたを避けどころと実感できるものとしてください。アーメン。

## 甘木通信

コヘルトは言う。なんという空しさ、なんという空しさ、すべては空しい。太陽の下、人は労苦するが、すべての労苦も何になろう。



真面目、努力が消えていった。楽しくへ。

小学校のとき、いくら勉強をしても敵わない光を放つ子が多くいた。兄もそうだった。勉強をしなくても適当にしていれば成績が良い。羨ましくもあり、悔しさもあった。小学5年生の時、「竹田君は、真面目で、努力の子だ。頭は良くないが努力するからここまで成績が良い」と先生に言われて、努力するしかない子どもかと思い、人生の大半をこの一声、真面目・努力が支配した。実に何事も努力したが面白くない。しかし、いくら努力しても、いつも「コヘルトは言う。なんという空しさ なんという空しさ、すべては空しい。」ということが心の中であった。だから勉強もちっとも楽しくなかった。ただ、苦痛しかなかった。だから、人からみれば楽しい人間でなく、喜ばれないうっとうしい存在だったと思う。「人は労苦するが、すべての労苦も何になろう。」というため息ばかりであった。自分も実に楽しくなく、人も楽しく出来ないことにコンプレックスを持っていた。しかし、ブラジルに行って、多くの楽しい人に出会い、実に楽しく日々を暮らす世界を経験して、徐々に「真面目、努力」ということが自分の生き方の柱らか消えていき、聖書の受け止め方も倫理道德の書でなく、生きる勇氣、楽しさを教えてくれると受け止めるようになった。

(甘木日記)土) 甘木教会へ。掃除、花の苗を購入。泊。日) 雪で礼拝出席者も少ない。礼拝奉仕する方、車の運転を出来る方が出席。お孫さんを連れて来て下さる。子ども声は嬉しい。全員で掃除。夕刻、東京へ。月) 朝から羽村幼稚園の管理者会議、日善幼稚園と連絡を取りながらでもあった。火) 幼稚園の状況を朝、電話して聞き、福岡空港に着き、一日の状況を聞く。寄る必要なしと聞きホット。幼稚園の状況がメールで来ている。色々な物語があったようだ。水) 休日、ゆっくりと休む。「施設評価委員会」の資料作り、羽村幼稚園の管理者会議議事録案、決済願いへの返信。木) 早朝、日善幼稚園、午前中、松崎保育園、午後、日善幼稚園。聖書の学びと礼拝担当。牧師だった。金) 遠足の引率。

**おまけ・牧師のぐち**（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。

はぐちらない聖人（牧師）もいますが、

土）幼稚園もなく、寝るだけ寝ようと思うが8時に起床。後片付けの順番で妻と喧嘩。人には人のやり方があると思うと同時に妻には妻のやり方もあると思うと。さて、どちらにあわせるか。妻のやり方にあわせれば口論も、不愉快の思いもないが、こちらは小人。インフルエンザの予防接種を妻と



二人で受けて、午後から甘木教会に行く。H姉が可愛いビオラを届けてくれる。つい、買いたくなって連れて行っていただき迷惑をかけた。夕刻からYouTubeで柳家小三治さんの囁を聞き、そのお弟子さんの柳家三三さんからの小三治さんのエピソードを聞いていると2時。落語を聞くために東京に帰りたくなった。日）起きると雪が庭を包んでいる。昨日、外の水道の蛇口から水を少しづつ出していた水が氷柱になってさがっている。礼拝出席者も少ないが、礼拝奉仕者、車の運転が出来る方が出席。お孫さんを連れて来て下さる。子ども声は嬉しい。夕刻、東京へ。一時間遅れ。泊めてくれる友人が誕生日だったので誕生日プレゼントをする。月）早朝、ラッシュの中を羽村幼稚園の管理者会議へ。早く着き、書類チェックをする。どうにか経営も軌道に乗りつつあるが、時代の変化にどう対応するか悩ましい。時間があつたのでご褒美に新宿で降りて高島屋で御座候の饅頭

を買う。日善幼稚園と連絡を取り合う。メールで子どもたちの状況が送られてきた。火）朝、幼稚園の状況を電話して聞き、幼稚園の園庭の使い方の本を購入に行こうと丸善に思うが、福岡空港に向かう途中、先生



方に美味しいどら焼きをと東日本橋まで来るが、道に迷う。着くと午前中に売り切れている道に迷ったことで帰りの飛行機まで時間がなくなり丸善に行く時間がなくなる。福岡空港に着くと幼稚園に一日の状況を聞こうと電話すると「無事に終わり、立ち寄る必要なし」と聞きホット。幼稚園の状況がメールで来る。今日もこちらが励まされる色々な物語があつた。水）体は本調子でないので、休日、ゆっくりと休む。「施設評価委員会」の資料作り、羽村幼稚園の管理者会議議事録案、決済願いへの返信。木）主任の体調が悪く、病院に寄っていくというので、早朝に日善幼稚園に行き、庭の掃除をして準備し、先生に引き継ぎをして、松崎保育園の職員の聖書の学び、子ども礼拝へ、午後は日善幼稚園に引き返して、子ども礼拝でした。園長の仕事をしたというよりも牧師の仕事をしたという恵みでどこか機嫌がよくなる。楽しくされました。金）キッザリア福岡に園児を引率。楽しく遊ばれました。